



2025年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社シンシア

上場取引所 東

コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長

(氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

半期報告書提出予定日 2025年8月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2025年1月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	3,551	14.9	275	52.3	259	45.1	169	76.1
2024年12月期中間期	3,089	1.2	181	2.4	179	△27.6	96	△42.1

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 48百万円 (△85.4%) 2024年12月期中間期 329百万円 (△11.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	26.33	26.33
2024年12月期中間期	15.14	15.14

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年12月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	5,401	2,689	49.8
2024年12月期	5,496	2,697	49.1

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 2,689百万円 2024年12月期 2,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期 (予想)			—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年 1月 1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,206	10.2	342	△29.3	313	△33.0	198	△34.2
								30.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	6,862,200 株	2024年12月期	6,862,200 株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	328,741 株	2024年12月期	459,312 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	6,448,401 株	2024年12月期中間期	6,370,118 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間との比較にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費には持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しているものの、米国の関税政策の動向やウクライナや中東の不安定な国際情勢の長期化など、先行きについては不透明な状況が継続しています。このような環境下、当社は、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進、またお客様に寄り添った製品のご提供に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトや、高機能新素材レンズの普及により1人当たりの購入単価は上昇傾向にあります。また、スマートフォン等、デジタル機器の普及により近視人口の急激な増加・若年化が進んでいます。さらに、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場は緩やかながら拡大しているものと推測しております。

このような環境の下、当社は2025年3月、株式会社フリューよりECサイト「Mew コンタクト」をはじめとしたカラーコンタクトレンズ販売事業を譲受し、当社の事業の軸であるコンタクトレンズ事業の基盤強化を図りました。コンサルティング事業については、昨今の医療脱毛クリニック業界全体における事業環境悪化を受け、独自の各種施策を打ち出すも顧客の回帰は厳しい状況となっています。また、システム事業については、成長するリユース市場において、リユース業界向けPOSシステムのニーズも拡大しており、その需要を取り組むべく、営業力等を強化してまいりました。

このような状況下、主軸のコンタクトレンズ事業およびシステム事業が堅調に推移したことにより、売上高は3,551,502千円(前年同期比14.9%増)となりました。利益面では、売上規模拡大による利益増に加え、為替が円高基調で推移したことなどが影響し、営業利益は275,972千円(同52.3%増)、経常利益は259,738千円(同45.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は169,803千円(同76.1%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド製品につきまして、クリアレンズは当社主力製品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「シンシアワンダーS」の売上が堅調であったことに加え、「シンシアワンダーS乱視用」が2025年2月に発売されたこともあり、シンシアワンダーSシリーズの売上高は777,492千円(前年同期比15.1%増)となり、結果、当社ブランドクリアレンズの売上高は1,650,470千円(同6.5%増)となりました。カラーレンズは、クリアレンズ同様、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンダーSクレシェ」が213,403千円(同33.3%増)と大幅に増加したことに加えて、「シンシア2ウィークSクレシェ」についても124,293千円(同7.6%増)と好調に推移、さらに2025年3月に事業譲受したカラーコンタクトレンズ販売事業の売上が新たに加わり、当社ブランドカラーレンズの売上高は438,148千円(同28.8%増)となりました。プライベートブランド製品の売上高につきましては、クリアレンズは、972,363千円(同16.5%増)、カラーレンズについても事業譲受したカラーコンタクトレンズ販売事業の売上が加わったことで、242,118千円(同73.8%増)と大幅に増加いたしました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は3,303,742千円(同15.3%増)となりました。セグメント利益は、353,055千円(同31.0%増)となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックの運営管理サポートを行っております。昨今の当業界を取り巻く経営環境悪化により、当社サポート先医院においても経営状況は厳しいものとなっております。このような状況を勘案し、当社においてもサポート料を見直し、売上高は19,000千円(前年同期比36.7%減)、セグメント利益は10,890千円(同23.7%減)となりました。

(システム事業)

システム事業につきましては、当社の完全子会社である株式会社タロスシステムズは、リユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーとして、成長するリユース市場において、営業力強化、開発力強化に注力し、さらなるサービス品質の向上に努め、拡大する需要を取り込みました。売上高は228,760千円(前年同期比17.4%増)、セグメント利益は54,735千円(同130.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は4,596,871千円となり、前連結会計年度末に比べ18,337千円減少いたしました。これは主に商品が137,451千円、受取手形及び売掛金が96,619千円、その他に含まれる前払費用が69,064千円それぞれ増加したものの、現金及び預金が232,333千円、デリバティブ債権が94,021千円それぞれ減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は804,568千円となり、前連結会計年度末に比べ76,557千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が41,133千円増加したものの、デリバティブ債権が89,956千円、償却によりのれんが23,365千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,401,440千円となり、前連結会計年度末に比べ94,895千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,062,334千円となり、前連結会計年度末に比べ42,686千円増加いたしました。これは主に買掛金が51,466千円減少したものの、その他に含まれる契約負債が62,602千円、その他に含まれる未払金が19,803千円それぞれ増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債は649,905千円となり、前連結会計年度末に比べ129,538千円減少いたしました。これは主に長期借入金が返済により112,309千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,712,240千円となり、前連結会計年度末に比べ86,852千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,689,200千円となり、前連結会計年度末に比べ8,042千円減少いたしました。これは主に自己株式の処分等により自己株式が80,460千円減少し資本剰余金が14,940千円減少したほか、親会社株主に帰属する中間純利益169,803千円の計上及び剰余金の配当121,654千円により利益剰余金が48,148千円増加したものの、繰延ヘッジ損益が118,905千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.8%(前連結会計年度末は49.1%)となりました。

(キャッシュ・フロー状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ232,333千円減少し、1,656,043千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前中間純利益259,738千円の計上、契約負債の増加額48,341千円、のれん償却額35,672千円の計上等の増加要因に対し、売上債権の増加額96,505千円、法人税等の支払額78,638千円、仕入債務の減少額52,403千円等の減少要因により、218,432千円の収入(前中間連結会計期間は452,393千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に事業譲受による支出160,000千円、貸付けによる支出30,000千円等の減少要因により203,765千円の支出(前中間連結会計期間は404,970千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額121,414千円、長期借入金の返済による支出112,309千円等の減少要因により、232,883千円の支出(前中間連結会計期間は223,712千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「業績予想の修正(上方修正)および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,377	1,656,043
受取手形及び売掛金	1,049,926	1,146,546
商品	983,633	1,121,085
貯蔵品	106,325	95,872
デリバティブ債権	154,194	60,173
外国為替差入証拠金	318,042	327,352
その他	123,265	198,470
貸倒引当金	△8,556	△8,672
流動資産合計	4,615,209	4,596,871
固定資産		
有形固定資産	69,197	64,885
無形固定資産		
のれん	416,131	392,766
その他	232,941	232,013
無形固定資産合計	649,073	624,780
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,189	43,323
デリバティブ債権	113,759	23,802
その他	53,497	54,703
貸倒引当金	△6,591	△6,927
投資その他の資産合計	162,855	114,903
固定資産合計	881,126	804,568
資産合計	5,496,335	5,401,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,478	190,011
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	217,952	217,952
未払法人税等	80,360	90,838
賞与引当金	13,962	17,218
株主優待引当金	4,540	—
その他	311,355	396,314
流動負債合計	2,019,648	2,062,334
固定負債		
長期借入金	682,594	570,285
長期預り保証金	13,000	13,000
繰延税金負債	83,850	66,620
固定負債合計	779,444	649,905
負債合計	2,799,092	2,712,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	300,915	285,975
利益剰余金	2,244,249	2,292,397
自己株式	△281,425	△200,964
株主資本合計	2,537,161	2,650,831
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	181,975	63,070
為替換算調整勘定	△21,894	△24,701
その他の包括利益累計額合計	160,081	38,368
純資産合計	2,697,242	2,689,200
負債純資産合計	5,496,335	5,401,440

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,089,676	3,551,502
売上原価	2,118,511	2,373,271
売上総利益	971,164	1,178,230
販売費及び一般管理費	790,012	902,257
営業利益	181,152	275,972
営業外収益		
受取利息	4,539	4,980
為替差益	—	3,579
デリバティブ評価益	6,485	—
その他	3,433	528
営業外収益合計	14,459	9,088
営業外費用		
支払利息	7,407	11,487
為替差損	6,008	—
デリバティブ評価損	—	12,595
株式報酬費用消滅損	1,868	148
その他	1,323	1,091
営業外費用合計	16,607	25,322
経常利益	179,004	259,738
税金等調整前中間純利益	179,004	259,738
法人税、住民税及び事業税	77,940	89,443
法人税等調整額	△2,689	491
法人税等合計	75,251	89,934
中間純利益	103,752	169,803
非支配株主に帰属する中間純利益	7,303	—
親会社株主に帰属する中間純利益	96,449	169,803

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	103,752	169,803
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	233,602	△118,905
為替換算調整勘定	△7,714	△2,807
その他の包括利益合計	225,888	△121,712
中間包括利益	329,641	48,091
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	322,337	48,091
非支配株主に係る中間包括利益	7,303	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	179,004	259,738
減価償却費	14,457	17,391
敷金償却額	284	284
のれん償却額	23,365	35,672
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△388	107
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,532	3,256
返金負債の増減額(△は減少)	△1,997	1,539
契約負債の増減額(△は減少)	19,952	48,341
受取利息及び受取配当金	△4,540	△4,980
支払利息	7,407	11,487
為替差損益(△は益)	△59,741	13,891
デリバティブ評価損益(△は益)	△6,485	12,595
売上債権の増減額(△は増加)	165,175	△96,505
棚卸資産の増減額(△は増加)	68,254	1,569
前渡金の増減額(△は増加)	—	△10,712
仕入債務の増減額(△は減少)	172,921	△52,403
その他の資産の増減額(△は増加)	11,794	55,993
その他の負債の増減額(△は減少)	△34,242	5,119
小計	556,752	302,384
利息及び配当金の受取額	4,531	4,869
利息の支払額	△7,988	△10,182
法人税等の支払額	△101,236	△78,638
法人税等の還付額	333	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	452,393	218,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△24,551	△1,246
無形固定資産の取得による支出	△4,750	△750
事業譲受による支出	—	△160,000
デリバティブ取引による支出	△256	△2,769
デリバティブ取引による収入	26,970	1,644
貸付けによる支出	—	△30,000
子会社株式の取得による支出	△367,010	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,514
敷金及び保証金の回収による収入	390	—
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△35,943	△9,310
その他	180	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404,970	△203,765
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	—
長期借入れによる収入	127,700	—
長期借入金の返済による支出	△117,591	△112,309
自己株式の処分による収入	4,869	840
配当金の支払額	△88,690	△121,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,712	△232,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,586	△14,117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△148,703	△232,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,194,364	1,888,377
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,045,660	1,656,043

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	1,549,370	—	—	1,549,370	—	1,549,370
カラーレンズ	340,226	—	—	340,226	—	340,226
プライベートブランド						
クリアレンズ	834,451	—	—	834,451	—	834,451
カラーレンズ	139,315	—	—	139,315	—	139,315
その他	1,440	—	—	1,440	—	1,440
コンサルティング	—	30,000	—	30,000	—	30,000
システム	—	—	194,872	194,872	—	194,872
顧客との契約から生じ る収益	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
外部顧客への売上高	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
計	2,864,803	30,000	194,872	3,089,676	—	3,089,676
セグメント利益	269,487	14,275	23,742	307,505	△126,353	181,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△126,353千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

前中間連結会計期間において、連結子会社である株式会社タロスシステムズの株式を追加取得したことに伴い「システム事業」セグメントにおいて、のれんが286,439千円発生しております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	1,650,470	—	—	1,650,470	—	1,650,470
カラーレンズ	438,148	—	—	438,148	—	438,148
プライベートブランド						
クリアレンズ	972,118	—	—	972,363	—	972,363
カラーレンズ	242,118	—	—	242,118	—	242,118
その他	641	—	—	641	—	641
コンサルティング	—	19,000	—	19,000	—	19,000
システム	—	—	228,760	228,760	—	228,760
顧客との契約から生じる収益	3,303,742	19,000	228,760	3,551,502	—	3,551,502
外部顧客への売上高	3,303,742	19,000	228,760	3,551,502	—	3,551,502
計	3,303,742	19,000	228,760	3,551,502	—	3,551,502
セグメント利益	353,055	10,890	54,735	418,680	△142,707	275,972

(注) 1. セグメント利益の調整額△142,707千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。